

# ビルバオ



[www.spain.info](http://www.spain.info)



旧市街

産業観光省

発行：© Turespaña

制作：Lionbridge

NIPO: 086-17-059-4

無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせくださいますようお願いいたします

表紙：ビルバオのグッゲンハイム美術館

裏表紙：旧市街

写真: Bilbao Turismo

## 目次

はじめに	3
ビルバオの地区	4
文化	8
ビルバオを味わう	10
ビルバオの四季	13
子供と楽しむビルバオ	14
街の隠れた名所	14
ビルバオの夜	18
観光ルートと散策	18
ビルバオ周辺のみどころは？	19
ビルバオへのアクセス	22
ビルバオでの移動手段	22



## はじめに

▲ ビルバオのグッゲンハイム美術館

ビルバオにお出でください、そして完璧な調和の中にある過去と現在と未来を感じてみませんか。工業都市として栄えた過去を前衛芸術という形に昇華させることに成功した街。

有名なビルバオ・グッゲンハイム美術館はもちろんのこと、他にも文化や芸術に触れられるスペースがたくさんあります。チタンで造られたこのミュージアムの外観が自然光を反射して様々な色に変化する様は、あなたを魅了せずにはおきません。そして、館内に足を踏み入れれば、現代アートの傑作の数々があなたを待っています。

旧市街、あるいはエンサンチェ地区の広いエレガントな通りを、散策してみませんか。散策の合間に、料理という芸術の小さな作品ともいえる、典型的なピンチョスを試してみたいはいかがでしょう。

ピンチョスにこの地方特有のワイン、チョコリを合わせれば完璧なアペタイザーとなります。その後はミシュランの星を獲得したシェフたちが腕を振るう食の殿堂ともいえるレストランへ向かいましょう。

山に囲まれ、地下鉄ですぐ海岸にたどり着けるこの街は、いたるところに自然があふれています。街の周りは緑にあふれているだけでなく、見晴らしのいい展望台がいくつもあり、ビルバオの街並みはもちろん、カンタブリア海まで見渡すことができます。

バスク地方を出なくても、サン・セバスティアンやビトリアなどの素敵な街を訪ねて、ワイン文化に触れたり、美しい山や海を堪能することができます。

ビルバオの魅力に浸ってみてください。五感のすべてでその素晴らしさを感じられるはずです。

# ビルバオの 地区

ネルビオン川とイバイサル川が創った盆地に位置する街、ビルバオは、あなたを温かく迎えてくれます。いくつもの代表的な地区をめぐりながら、この街の魅力を見つけましょう。

▶ サンティアゴ大聖堂



写真: FRANCISCO DE BORJA LARIA / 123rf.com

## 旧市街

広い歩行者天国エリアを歩いたり、美しい展望台、ガラス張りの出窓、数世紀の歴史を持つ建物のバロック様式のファサードなどを見て回ったりしませんか。ここでは、ビスカヤ県の県都であるこの街の最も古く伝統的な地区で、「7つの通り」を意味する「シエテ・カジェス」という名前でも呼ばれています。正にビルバオの心臓とも言えるエリアです。

街路樹と遊歩道に沿って歩いて行くと、**エル・アレナル**庭園にたどり着きます。ここでは、毎週日曜日にフラワーマーケットが開かれます。庭園の横には**アリアガ劇場**のネオバロック様式のファサードが、正面には**サン・ニコラス教会**の塔が見えてきます。18世紀に造られたこの教会は、バスク人の漁師や船乗りたちの思いがたくさん詰まっている場所です。

ビルバオの旧市街には、この街を象徴するいくつものモニュメントを見ることができます。**サンティアゴ大聖堂**は街で最

も古い建築物で、旧市街の中核であると同時に市民の待ち合わせ場所にもなっています。中に入ると、樹木のある中庭を囲む美しい回廊があり、まるで旧市街の真ん中にできたオアシスのようです。

少し歩くと、可愛らしいカフェやバルがある**ヌエバ広場**に出るので、ここで一息入れることもできます。

また、ビルバオの街と同じように再生を果たした市場、**メルカド・デ・ラ・リベラ**も、是非立ち寄りたい場所のひとつです。夕暮れ時に川沿いを歩くと、市場を覆うガラスの壁に夕陽が当たって美しく輝く様を見ることができます。

この地区の細い路地を歩くと、思いがけないところで可愛らしい広場や趣のある空間に遭遇することでしょう。もちろん、この街の食文化を代表するピンチョスも外せません。この街ではバルめぐりを「ポテオ」と呼びますが、コレオ通り、ビデバリエタ

通り、アルテカレ通り、ソレラ通りやラ・クルス通りで「ポテオ」を楽しみましょう。また、様々なタイプの店舗があるので、ショッピングも楽しめます。この地区には洗練された手作りの品を扱う伝統的な店舗が多くありますが、革新的な新しいタイプのショップも共存しています。

この「シエテ・カジェス」界隈には、15世紀に造られたゴシック様式の**サン・アントン教会**（祭壇の下にはかつてビルバオの街を囲んでいた城壁の跡を見ることができます）や18世紀に建てられた宮殿を改装して社会文化センターとして再生させた歴史的建造物、**ラ・ボルサ**などもあります。



▲ 旧市街

## インダウチュ地区 とアバンド地区

心地よい散策、素晴らしい眺望、そして破天荒な建築。ビルバオのエンサンチェ（新市街地）を形成するエレガントな2地区、**インダウチュ**と**アバンド**のエッセンスは、こう表現できるでしょう。川沿いのこの地区にはかつて多くの工業施設が集まっていましたが、時代と共にその活動は目に見えて衰えて行きました。そこで生まれたのが、衰退した工業地区を今日の姿に再生することを目的としたプロジェクト、「**ビルバオ・リア 2000**」でした。プロジェクトは成功し、この地域は観光と商業に特化した近代的エリアに生まれ変わりました。

シルクラル広場などに通じる、碁盤目状に造られた広い道路を散策してはいかがでしょうか。シルクラル広場近くには、最も格式が高く最も入会が難しい会員制クラブ、**ソシエダ・ビルバイーナ**の本部があります。これは折衷主義風の建築物で、内部は英国風の美しい内装が見事です。広場からブエノスアイレス通りを進み、川を渡ると、見事な彫刻群が建物の正面を飾る**市庁舎**にたどり着きます。



▼ シルクラル広場



写真: MITXI/Bilbao Turismo

▲ オテイサの彫刻から見た市庁舎

川沿いに進むと、今では街のシンボルとなっている、フランク・ゲーリーの設計による**ビルバオ・グッゲンハイム美術館**が見えてきます。内部で素晴らしい作品を鑑賞できるのはもちろんですが、チタンを素材として複雑な曲線と面が創り出すこの建物自体が巨大な芸術作品でもあります。

ビルバオのエンサンチェ（新市街地）を象徴する様式のひとつがモデルニスモです。建築家、ルイス・アラドゥレンのデザインした**カサ・モンテロ**は、ビスカヤ県の県都、ビルバオで最も有名なモデルニスモ建築の作品と言えます。また、バスク建築における折衷主義の最高傑作とされる**ビスカヤ地方議会宮殿**もアラドゥレンの設計によるものです。

それらとは別に、市民からエウスカルデゥナ宮と呼ばれている**国際会議場・コンサートホール**にも是非、立ち寄ってください。スチール製の船を思わせるユニークな外観はもちろんのこと、内部も興味深いスペースとなっています。

① [www.euskalduna.eus](http://www.euskalduna.eus)

ビルバオの街を流れる川に架かるいくつもの橋、これらの橋を通じてこの街を知るのもおもしろいでしょう。**ペドロ・アルーペ橋**や**ラ・サルベ橋**の上からはこの街の素晴らしい眺めを楽しむことができます。

## ベゴージャ地区

ここは市内の高台にある地区で、その中心には**ベゴージャ教会**が建っています。この街の守護聖母、ベゴージャの聖母は土地の人々から「ラ・アマチュ」と親しみを込めて呼ばれていますが、この教会はこの聖母を祀って16世紀に造られたものです。

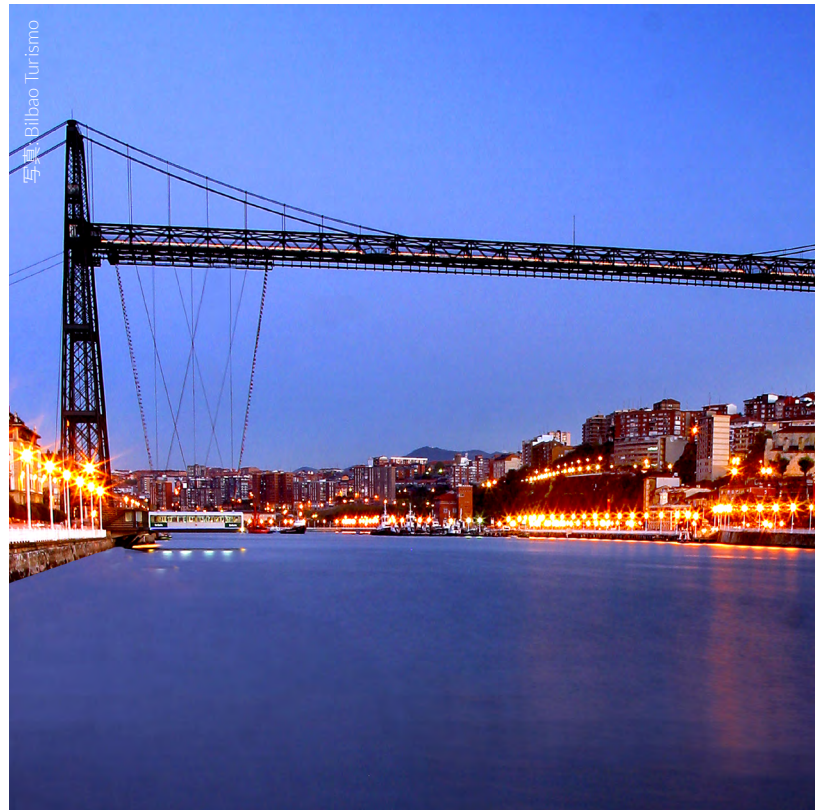
毎年、10月11日のベゴージャの聖母の日には、巡礼祭が盛大に行われ、コンサート、パレード、ちびっこ向けプログラム、ダンスやバスクの伝統スポーツなど様々なイベントが賑やかに開催されます。旧市街と丘の上にそびえるゴシック

▼ ビルバオのグッゲンハイム美術館





▲ ベゴニャ教会



▲ ビスカヤ橋

様式の教会とを繋ぐ、ウナムーノ広場から始まる階段は「カルサダス・デ・マジョナ」と呼ばれていますが、この長い階段には多くの歴史が刻まれています。

300段あるこの階段を昇ってみましょう。途中で石の十字架が見えて来ますが、ここはかつてこの街の墓地があった場所です。ここへは地下鉄からマジョナのエレベーターに乗って行くこともできます。エレベーターを降りると、そこにはエチェバリア公園の素晴らしい眺望が開けています。そこから教会までは歩いてもすぐの距離です。

## ビルバオ周辺

鉄で造られた世界最古の運搬橋で世界遺産に登録されている吊り橋、ビスカヤ橋を渡ってみませんか。この巨大な建築物は、ネルビオン川を挟んで位置するゲッ

チョの町とポルトガレテの町を繋ぐ重要な連結ポイントとなっています。

ポルトガレテはビルバオからの日帰りツアーに最適の場所です。中世の面影を残す急勾配な道が入り組む歴史地区を散策するもよし、聖母マリア聖堂、サラサールの塔やサンタ・クララ修道院などを訪ねるのもいいですね。ポルトガレテからは、自転車道をたどって美しい海岸、ラ・アレナに行くこともできます。対岸のゲッチョには、趣のある街並みと素晴らしい建築物があなたを待っています。アルゴルタの旧港やラス・アレナス地区を訪ねるのもよし、砂浜と断崖が入り混じる海岸線を散策するのもいいですね。



ビルバオ

## 文化

サイエンスフィクション映画の1シーンかと思うような現代美術館、絵画や彫刻の傑作が並ぶ素晴らしいギャラリー、コンサートや演劇が行われるスペクタクルなスペースなどなど、ビルバオの文化芸術資産は無尽蔵です。

◀ ビルバオ・グッゲンハイム美術館

**ビルバオ・グッゲンハイム美術館は、デザイン、近代性、そして芸術への強い思い入れを特徴とするこの街を象徴する存在です。**

ビルバオの市街地とその周辺の景色に完璧に溶け込んでいる、チタンの曲面が創り出すこの美しい建築構造は、あなたを魅了せずにはおかないでしょう。

このモニュメントを訪れて、常設展や定期的に変わる展示などを鑑賞しませんか。もちろん、美術館のマスコットである花で造られた仔犬「パピー」とルイーズ・ブルジョワの作品、蜘蛛の「ママ」もお見逃しなく。

内部にはアンディ・ウォーホルがマリリン・モンローを繰り返し描いた一連の

ポップアート画やリチャード・セラ、アンゼラム・キーファー、ゲルハルト・リヒター、ジャン＝ミシェル・バスキアなど世界的に有名なアーティストらの作品が展示されています。また、エドゥアルド・チジーダやホルヘ・オテイサなど、バスク人彫刻家の作品も観ることができます。

① [www.guggenheim-bilbao.eus](http://www.guggenheim-bilbao.eus)

もう少し古典的な絵画館を好む人には、スペインでも有数のコレクションを展示する**ビルバオ美術館**がおすすめ。18世紀から今日まで、多様な概念や技法で描かれた絵画を観ながらタイムトリップを楽しんではいかがでしょう。エル・グレコ、ゴヤ、スロアガ、フランシス・ベーコン、ミゲル・バルセロ、アントニ・タピエスなどを含む1万点以上の作品が収蔵されています。

① [www.bilbaomuseoa.eus](http://www.bilbaomuseoa.eus)



また、**考古学博物館**の近代的な施設では、先史時代から近代にいたるまで、過去にここで生きた人々が遺した様々な足跡を見ることができます。

① [www.bizkaikoa.bizkaia.eus](http://www.bizkaikoa.bizkaia.eus)

フィリップ・スタルクの強烈なデザインが目を引く文化センター、**アスクナ・セントロア**では、あらゆるタイプの文化イベントが開催されます。演劇、コンサート、オペラなどの鑑賞を望むなら、エウスカルドゥナ宮では充実したプログラムを提供しています。

① [www.azkunazentroa.eus](http://www.azkunazentroa.eus)

① [www.euskalduna.eus](http://www.euskalduna.eus)

ビルバオはまた、演劇を楽しめる場所も充実しています。**アリアガ劇場**、**サラBBK**、**ビルボロック**、**カンポス・エリセオス劇場**、**ソシエダ・フィラルモニカ**などの劇場のプログラムから、好みの作品を探してみてもいいでしょう。

① [www.filarmonica.org](http://www.filarmonica.org)

① [www.teatroarriaga.eus](http://www.teatroarriaga.eus)

① [www.salabbk.eus](http://www.salabbk.eus)

① [www.bilbaogazte.bilbao.eus/es/bilbarock](http://www.bilbaogazte.bilbao.eus/es/bilbarock)

① [www.teatrocampos.com](http://www.teatrocampos.com)



最後になりましたが、ビルバオの文化シーンには**ビルバオ・アート・ディストリクト**の存在が不可欠であることを忘れることはできません。このプログラムは、街全体で文化や芸術を日常に溶け込ませるための活動を年間を通して行う目的で企画されました。

① [www.visitbiscay.eus/es/-/art-district-el-bilbao-alternativo](http://www.visitbiscay.eus/es/-/art-district-el-bilbao-alternativo)





▲ ピンチョス

## ビルバオを 味わう

ビルバオのバルやレストランのカウンターでは、色、香り、そして味覚のスペクタクルがあなたを待っています。美味しいおつまみを求めて街中を歩き回る人々、ピンチョスに対するその思いはもう、信仰と呼べるかも知れません。

ピンチョスには伝統的なものから前衛的な創作料理まであらゆるタイプがありますが、代表的なものはやはり「ヒルダ」と呼ばれるオリーブとアンチョビと青唐辛子を楊枝で刺したものやマッシュルームのグリル、チャンゲーロと呼ばれる蟹料理、トルティージャ（ポテト入りオムレツ）、そしてバスク料理のスター、鱈を素材とした様々な料理などが挙げられるでしょう。

ピンチョスを提供する店のタイプもまた、千差万別です。旧市街やアバンド、インダウチュ地区には、百年を超える歴史を持つ居酒屋、モダンなバル、可愛いカフェテリア、レストランなどがたくさん存在しますが、これらの地区では小さいサイズのピンチョスで様々な味覚を楽しむことができます。店のタイプや提供する形は違っても、ピンチョスに対する思い入れの深さは同じです。できれば、この土地で生産される白ワイン、**チャコリ**と一緒にピンチョスを頂くのが理想です。準備はできました、バスク地方に根付く伝統的習慣、チキテオあるいはピンチョ-ポテと呼ばれるバルめぐりに出かけましょう！

レストランや炭火焼きレストランの提供する良質で充実した料理のおかげで、ビルバオはスペインにおける食文化の

メッカとなりました。ビスカヤ県の県都であるこの街には、**ミシュランの星**を獲得したレストランがいくつもあります。

バスク料理をより深く知るもうひとつの方法、それは豊富な食材が並ぶ市場を訪ねることです。最近、修復されて美しく生まれ変わった川沿いの市場、**デ・ラ・リベラ市場**は、近代化を目的として変貌を遂げたこの街を象徴する存在と言えるでしょう。夕暮れ時にビルバオの川沿いを歩いて市場を覆うガラスに夕陽が美しく反射する様を見た

り、生演奏の音楽を聞きながら厳選されたバスク料理やピンチョスを食したりしてみませんか。

前世期の初めに開業し、最近リニューアルされたもうひとつの市場が、**アバンド**の市場です。美味しい地産のチーズや腸詰類を買いに、この小さくて可愛らしい市場に立ち寄ってみませんか。一方、街の真ん中に位置する市場、**エンサンチェ市場**は、昔からビルバオ市民の台所として親しまれてきた活気のある場所です。

▼ デ・ラ・リベラ市場





# ビルバオの四季

## 秋

毎年、10月最後の月曜日には、ビルバオから約35キロメートルほどのところにある美しい町、ゲルニカで**フェリア・デ・ゲルニカ**と呼ばれる祭りが盛大に開催されます。即興でバスク語の詩を吟ずるベルソラリスと呼ばれるイベント、チームに分かれて牛と一緒に障害をクリアするレース、ハイアライなどの伝統スポーツ、そして土地の名物料理など、盛りだくさんなこの祭りでは、バスク地方の最も伝統的な顔を見ることができます。

## 冬

丸太割り、石担ぎ上げ、岩の穴開けなど、バスク地方の伝統的スポーツは、寒い季節に盛んに行われます。これらの競技はバスク語で**エリ・キロラク** (*herri kirolak*) と呼ばれています。

毎年、2月から3月にかけてビルバオで開催される国際LGBT映画舞台芸術祭、**シネゴアック** (*Zinegoak*) は、この種のイベントとしてスペイン国内で最も重要なもののひとつとなっています。

## 春

好天に恵まれれば、ビルバオではマリンスポーツ、トレッキング、サイクリングなど様々なアクティブツーリズムを楽しむことができますが、やはり一番人気はチョリエリの谷の豊かな自然に囲まれた素晴らしいコースで**ゴルフ**を楽しむことでしょう。



▲ マリハイア

## 夏

晴れて気温が上がる夏の日には、ラス・アレナス、エレアガ、アリグナガなど、街のすぐそばにある**ビーチ**で過ごすのもいいでしょう。

そして、ビルバオの夏と言えばやはり**セマナ・グランデ**(バスク語でBilboko Aste Nagusia)でしょう。8月下旬、9日間にわたって、旧市街と川を挟んだ兩岸の地区には、音楽をかけて食べ物や飲み物を供する**チョスナス**と呼ばれる屋台が並び、祭りの様々なイベントが繰り広げられます。特に目を引くのは、この祭りのシンボルとも言える女性を象った「マリハイア」と呼ばれる巨大な人形でしょう。最終日、両手を天に差しのべるこの人形が炎に包まれると祭りの幕が閉じられます。



▲ ドニャ・カシルダ・イトゥリサール公園

## 子供と楽しむ ビルバオ

ビルバオは家族連れの旅行に最適です。特に、小さい子供のためのアクティビティが豊富にそろっています。例えば、市内中心地とアルチャンダ山を繋ぐ**アルチャンダ・ケーブルカー**に乗ってみてはいかがでしょうか。高い場所から、素晴らしい景色を楽しむことができます。

アヒルの公園として知られる**ドニャ・カシルダ・イトゥリサール公園**は緑あふれる美しいスペースで、クラシックなメリーゴーランドに乗ったり、アヒルの池を見に行ったり、あるいは噴水や彫刻を眺めてのんびり歩いたり、様々なアクティビティを楽しむことができます。

ユニークな視点からこの街を見てみたい、そして子供たちを驚かせたいと考えるなら、ネルビオン川を遊覧できる観光船に乗ってみてはいかがでしょうか。この街を**川の上から散策**し、素敵な思い出を持ち帰ってください。

## 街の 隠れた名所

時間に余裕があれば、ビルバオの街のあちこちにある隠れた魅力を是非、見つけてください。

### 公園と庭園

ビルバオの街で最も目を引く色、それは街中にあふれる公園や周りを囲む山々の色、緑です。最も大きな公園は、ベゴニャ地区の丘の上にある**エチェバリア公園**です。旧市街にある庭園エリア、**エル・アレナル**は散策したり、休憩したり、あるいはピクニックをしたりできる、ビルバオ市民に愛されている場所です。

アバンド地区の真ん中にある**アルビア庭園**もまた、散歩したり、周りの建築物を鑑賞したり、あるいは近くのバルで飲食を楽しんだりできる素敵な場所を市民に提供しています。レカルデの近く、か



つて鉄道や操車場があった場所が、今では是非行って見たい場所のひとつ、**アメツォラ公園**に生まれ変わっています。

これらは、ビルバオの緑あふれるスペースのほんの一部に過ぎません。他にも未だたくさん、楽しめる場所があります。**ミリビージャ**、**ビダルテ**や**エウロパ**などの地区には、青々とした芝生が広がり、その中をどこまでも続く道がのびる、広大な公園があなたを待っています。

## モニュメント

ビルバオの街を歩いていると、特徴のある建築物や様々なモニュメントを見ることができます。よく知られているモニュメントの他にも、ロマン主義の庭園が美しい**ラ・サンタ・イ・レアル・カサ・デ・ミセリコルディア**、**イバイガネ**宮殿や中央政府代表部が置かれている**チャバリ**宮殿などの壮麗な建物、あるいはフランス折衷主義の**ビデラリエタ図書館**など、見逃せない場所がたくさんあります。

また、ビルバオ出身の建築家、ペドロ・イスピシアが手がけたコンサートスペース、**キオスコ・デ・アレナル**を訪ねて、コンサートを聴いてみてはいかがでしょうかでしょう。張り出し屋根のある円形の音楽堂で、帆立貝の貝殻に着想を得た表現主義の美しい建築物です。

あるいは、「サッカーの大聖堂」と称される**サン・マメススタジアム**に立ち寄ってみませんか。このスタジアムは、2015年度世界建築フェスティバル（WAF）のスポーツ施設部門で最優秀建築物に選ばれたのをはじめ、多くの賞を受賞しています。

また、ノーマン・フォスターのデザインで造られた地下鉄ネットワークの建築はビルバオ市民の誇りとなっています。中でも特に目を引くのは、その外観から**ラ・アラニャ（蜘蛛）**や**シエンピエス（百足）**の別名で知られている**サリコ**の駅です。デザインした建築家の名前になんで「**フォステリトス**」と呼ばれる、スチールとガラスを素材に独特のデザインで造られた地下鉄の入口は、訪れる人に新鮮な驚きを与えることでしょう。





## 知る人ぞ知る 博物館・美術館

ビルバオには驚くほど多くのミュージアムがあります。そのテーマはローカルなものから世界的なものまで、そして古代から現代までと多岐にわたります。

旧市街の真ん中にある**バスク博物館**は、バスク地方の民俗学や文化に関連する遺産を収蔵しています。そのすぐそばにある**聖週間博物館**では聖週間に練り歩く山車が展示されていますが、この種の展示を行っているこの地域で唯一の場所となっています。同様に興味深い場所として、**宗教芸術教区博物館**が挙げられますが、ここにはヨーロッパでも屈指とされる金銀細工が展示されています。

エンサンチェ地区にある**リア・デ・ビルバオ海洋博物館**は、ビルバオのリア（入り江）に関連する伝統、文化、歴史遺産を継承することを目的としています。

## ビルバオの屋根

活気に満ちたこの街の全体像を、一味違う視点から見てみましょう。**ラ・サルベ橋**を渡ると、中心地の素晴らしい眺めを堪能することができます。

あるいは、ビスカヤ県都の家並みを見下ろしながら飲食をと考えるなら、かつてのワイン貯蔵庫をフィリップ・スタークのデザインで修復した**アスクナ・セントロア**のテラスへ立ち寄りましょう。現在は文化・娯楽施設となっているこのスペースには、各種展示、コンサート、プール、レストラン、様々なショップ、映画館などなど、あらゆるものがあります。

**ソロコエチェの階段**を登って行くと、まるで屋根の上を歩いているように感じることでしょう。もう少し足をのばせば、**エチェバリ公園**の高台や**アルチャンダ展望台**からも素晴らしい眺望を楽しむことができます。

▼ アルチャンダ展望台



## ビルバオの夜

ビルバオのエキサイティングなナイトライフには、あらゆるタイプの選択肢がそろっています。ナイトライフ開始の定番はなんといってもチキテオと呼ばれるバルめぐり、旧市街、エンサンチェ地区あるいはレデスメ地区から食べ歩きを始めましょう。居酒屋やバルの中には、素晴らしい眺めを楽しめる場所もあります。

チキテオの後は、熱気に満ちたバルや癒し系のバル、コンサートホール、ディスコなどなど、たくさんの選択肢から好みの場所をお選びください。アルビア庭園やマサレド庭園の周辺が特にお薦めのエリアです。ちょっと変わった場所が好みなら、リパ埠頭やマルサナ埠頭の界隈を訪ねるといいでしょう。



## 観光ルートと散策

ビルバオを見て回る方法はたくさんあります。市街地はコンパクトにまとまっているので歩いて観光することが可能です。また、川に沿って自転車専用道路が整備されているので、自転車で観光することもできます。あるいは、水の上でカヌー、パドルサーフィン、ビッグ・サップなどのスポーツを楽しみながらユニークな形で街を知るといった選択肢もあります。

自然と市街地の中に多様な色彩と構造が重なり合っているビルバオは、素晴らしくフォトジェニックな街と言えるでしょう。市内で写真撮影ルートを提供している会社もありますが、自分の好みで街をめぐり、気に入った建物やエリアを画像に残すこともできます。

# ビルバオ周辺の みどころは？



▲ ドノスティア/サン・セバスティアン

## ドノスティア/ サン・セバスティアン

ギプスコア県の県都、サン・セバスティアンは建築、食文化そして海が完璧に調和した美しい街です。海に沿ってのびる白砂に覆われたビーチで日光浴を楽しむもよし、のんびりと海辺を散歩するのもいいですね。市街地を歩けば、ビクトリア・エウヘニア劇場や市庁舎など、ベル・エポック様式の建築物を鑑賞することができます。

また、漁港やイゲルド山など、いずれも趣のある素敵な場所があります。イゲルド山の麓にはエドゥアルド・チジーダの集合彫刻作品、「風の櫛」(Peine del Viento) が置かれています。

① 詳細情報：

[www.sansebastianturismo.com](http://www.sansebastianturismo.com)

## サン・ファン・デ・ ガステルガチェ

マチチャコ岬の先端にポツンとあるこの礼拝堂の歴史は10世紀にまでさかのぼります。ここへ行くには、断崖の上に造られた細い階段状の石の橋を渡るしかありません。

ゲーム・オブ・スローンズ  
のさまざまなシーンの撮影  
場所となったこの場所では、  
印象に残る景色を堪能  
できます。

ビルバオ



## ゲルニカ - ルモ

ユネスコから「平和を象徴する町」と認められたゲルニカを訪ねれば、きっと歴史を感じることでしょう。この町は、スペイン内戦中の1937年、ドイツ軍とイタリア軍の空爆によって壊滅的な被害を受けました。町と同名の**パブロ・ピカソ**の代表作は、この史実に着想を得て描かれたものです。バスク民族の象徴であるゲルニカの木、これは非常に興味深いバスクの歴史遺産のひとつです。この町では、それ以外にも魅力的な祭りや伝統を継承する市場などを体験することができます。ウルダイバイ地方一帯には、自然が手つかずのまま存在しており、ユネスコの生物圏保護区に指定されています。

## リオハ・アラベサのワイン街道

中世に造られた洞窟の中、そこで造られたワインを味わう、いつでもできることではありません。この地方のワイン醸造家たちは、伝統と前衛を融合させることに成功しました。**サマニエゴ**、**エルシエゴ**、あるいはリオハ・アラベサ地方の中心地である**ラグアルディア**など、広大なブドウ畑の中に点在する町を訪ねてみませんか。

① 詳細情報：

[www.rutadelvinoderiojaalavesa.com](http://www.rutadelvinoderiojaalavesa.com)

## ビトリア＝ガステイス

バスク自治州の州都であり、アラバ県の県都でもある美しい街です。この街のエンサンチェ地区を散策してみませんか。ロス・フエロス広場やフロリダ遊歩道などは特に立ち寄りしたい場所です。一方、中心地にあるカスコ・ビエホは様々なタイプのバルやレストランがひしめき、活気にあふれています。

① 詳細情報：

[www.vitoria-gasteiz.org](http://www.vitoria-gasteiz.org)



写真: Mikhail Mandrygin/123rf.com

▲ マルケス・デ・リスカルワイナリー  
エルシエゴ (アラバ県)

▼ ビルヘン・ブランカ広場  
ビトリア



写真: joriswo/123rf.com



## ビルバオへのアクセス

### 空港

ビルバオ空港は市内中心地から12キロメートルの場所にあり、スペイン及びヨーロッパの主要都市と空路でつながっています。

① 詳細情報：

[www.aena.es/es/bilbao.html](http://www.aena.es/es/bilbao.html)

### 列車

ビルバオ - アバンド駅からは毎日、マドリードとバルセロナへの長距離列車が運行している他、スペインのその他の主要都市とを繋ぐ電車も運行しています。また、近郊列車の3路線も運行していて、ビルバオおよびその周辺地域とバスク地方の他の地域とを繋いでいます。

さらに、ビルバオは観光列車「コスタ・ベルデ・エクスプレス」「トランスカンタブリコ・グラン・ルーゴ」「ロブラ・エクスプレス」の経由地でもあります。

① 詳細情報：

[www.renfe.com/](http://www.renfe.com/)

[www.renfe.com/es/es/experiencias/viajes-de-lujo](http://www.renfe.com/es/es/experiencias/viajes-de-lujo)

### 車

有料高速道路、AP-8号線はフランス国境からビルバオまでをつなぐバスク地方の幹線道路です。一方、料金のかからない自動車専用道 A-8 号線はそれ以外の地域をカバーしてガリシア州まで続いています。

有料高速道路AP-68号線はエプロ川流域の地方を経由してバルセロナまで続いています。また、AP-68号線の南方向はブルゴスまで続いており、そこからマドリード、バジャドリ、ポルトガル方面に分岐します。

## ビルバオでの移動手段

ビルバオの地下鉄が運行する3路線は高速かつ高効率でビルバオ首都圏と近郊の町を結んでいます（近郊列車と同様）。

ビボブスと呼ばれる市営バスは44系統が運行され、市内には500を超えるバス停があります。その内、27系統は普通バス、9系統はアウソリネアスと呼ばれる小型バス、8系統はガウチョリスと呼ばれる夜間運行バスとなっています。普通バスと小型バスは毎日朝6時から夜23時まで運行し、夜間バスは金曜の夜23時から2時30分まで、土曜は夜通し運行しています。

また、健康的で持続可能な移動手段、レンタル自転車という選択肢もあります。環境に優しい移動手段としてのもうひとつの選択肢は電気自動車レンタルでしょう。

① 詳細情報：

[www.metrobilbao.eus](http://www.metrobilbao.eus)

[www.bilbao.eus/bilbobus](http://www.bilbao.eus/bilbobus)

## 併用公用語

ビルバオでは二つの公式言語が使われています。バスク地方特有の言語であるバスク語とスペインの公用語であるスペイン語です。標識やポスターなどはほとんどがバスク語で表示され、その下にスペイン語訳が併記されています。



## 詳細情報

ビルバオ観光局  
 Plaza Circular, 1  
 48001 - BILBAO (País Vasco)  
[informacion@bilbaoturismo.bilbao.eus](mailto:informacion@bilbaoturismo.bilbao.eus)  
[www.bilbaoturismo.net](http://www.bilbaoturismo.net)

スペイン政府観光局  
 公式サイト  
[www.spain.info](http://www.spain.info)



 <p>MINISTERIO DE INDUSTRIA Y TURISMO</p>	<p>TURESPAÑA </p>
--	---

 @spain

 @spain

 Spain.info

 @visitSpain